

令和6年度 外部評価シート

施設名	一庫公園	現指定管理期間	令和3年～7年(5年間)
指定管理者	兵庫県園芸・公園協会	選定方法	公募

1 評価項目ごとの評価 (対象期間：令和3年～5年)

評価項目	評価
維持管理業務	● 本公園は、恵まれた自然環境や豊かな生態系と炭焼窯跡等の施設、山林を走る園路やアスレチック遊具がある。これら施設の老朽化が進む中、不具合及び危機箇所等の早期発見や修繕を基本とし、避けがたい自然環境を原因とする落石、倒木対策にも努め、利用者が常に安全・安心かつ快適に利用できるよう尽力していた。 ● 清掃については特にトイレやシカの糞清掃等を重点的に行うなど、快適な環境整備を実施しており、設備保守管理についても日常、定期点検及び法定点検をマニュアルに基づき適宜的確に実施していた。 ● 植栽管理は、低木剪定や機械除草等を計画的に実施し、枯損木処理も適宜適切に行い、里山公園としての景観や環境に配慮した維持管理を行っていた。
運営業務	● 公園周辺は、茶道用菊炭の生産が続いている生きた里山であり、平成 18 年に環境省の里地里山保全再生モデル事業実施地域に認定されるなど、日本一の里山と称されており、園内のネイチャーセンターでは、里山の生き物や生態が学べるほか、炭窯が整備され、参画と協働によりクヌギ林の輪伐による維持と伝統的な菊炭の生産が続けられている。 ● このような環境下で自然体験学習として公園の里山林や草原、ビオトープ池などのフィールドを活用した自然観察会やナイトプログラムなど各種イベントを開催していた。また、住民活動グループと連携した炭焼きの伝統文化継承事業や、北摂里山PRのための合同イベント「北摂里山の日」の開催など、各所で一庫炭の販売やPR活動を行っていた。ウッドキューブなどを利用した木育教育や縁日イベントなどの「子育て応援プロジェクト」についても、公募時の提案では年2回実施することを目標としていたが、コロナ禍からのイベント等再開の機運を受け、利用者誘致を目的に目標の2倍となる年4回実施していた。 ● また、駐車場整備状況に関して制約がある中、特に混雑時にはHPでの渋滞情報提供や、スタッフによる巡視や看板の設置等により利便性の向上に努めていた。
利用状況	● 公募時に提案した目標年間来園者数(年間 24 万人)に対して、年度別来園者数は、令和3年度は 26 万人、令和4年度は 24 万人、令和5年度は 24 万人となっており、目標は達成した。平日の公園利用に向け、小学校や幼稚園等の里山体験学習、校外学習や遠足などの利用促進に努めていた。
収支状況	● 施設維持管理は基本的に直営で行い、委託経費削減に努めるだけでなく、業務等の見直しにより、効率的な予算執行が行われていた。
運営体制	● 来園者の安全を守るための環境整備、また職員の危機管理能力の向上を図るため、消防訓練等を継続実施している。また、「さとやま会議」などを通して、危機管理に関する情報共有や意見交換等により、非常時対応の推進が図られていた。 ● 里山や環境、地域の活性化に資するイベント等については、一庫公園の自然豊かで特色のあるフィールドを提供することにより、フィールドワークや研修、イベントなどにおいて県と相互に緊密な連携を図っていた。特に、獣害対策等については川西市と意見交換を実施し、既設柵の改修を施設所管課と連携し施工した。
その他	—

2 残りの指定期間における改善点

- 利用者満足度調査において「公園の情報発信の充実度」「イベントの数と内容」については他項目と比較して相対的に満足度が低かった。このため、人気イベントの増枠や新たなイベントの検討を進め、併せて利用者が確認したいと思われる情報や公園側が確認いただきたい情報について、明確かつ速やかに閲覧いただけるよう公園HPの随時更新や、さらにSNS等を利用したタイムリーな情報発信について、重点的に取り組んでいただきたい。
- また、利用促進事業については、一庫公園の豊かで恵まれた自然環境特性を生かし、園内資源を効率的・効果的に活用したネイチャーセンター主催プログラムの一層の充実や、住民活動グループ等と連携して、参画と協働による更に魅力的な事業を検討していただきたい。

3 次期公募に向けた検討課題等

- 本公園は恵まれた自然環境や豊かな生態系を後世に伝えるとともに、この地域の里山文化や伝統技術などを広く継承していく場として位置づけられている。指定管理者は本公園の設置目的を理解したうえで、里山公園としての景観や環境に配慮した豊富な自然環境を維持できている。また、小学校や幼稚園等の里山体験学習などの利用促進による文化の継承についても尽力していると評価する。
- 維持管理全般においては事故等なく運営できており、利用者満足度調査において非常に満足度が高いことから、引き続き適切に維持管理を行っていただきたい。
- その一方で、他の項目と比較するとイベント数や内容について利用者満足度調査の評価が低くなっている。「子育て応援プロジェクト」「ヘルシーパークプロジェクト」や各種自然体験学習等のイベント実施に加えて、更なるイベントや住民の参画と協働、活性化についても検討していただきたい。

(参考) 県立都市公園指定管理者候補者選定委員会委員

氏 名	主な役職	備 考
平田 富士男	兵庫県立淡路景観園芸学校 兵庫県立大学大学院教授	委員長
赤澤 宏樹	兵庫県立大学教授	
宇田 名保美	中小企業診断士	
松田 竜一	兵庫県まちづくり部次長	
山下 紗矢佳	武庫川女子大学准教授	